

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年5月15日～2017年5月21日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年5月25日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼「議会選挙」(14日)

・唯一、投票の実施が延期されていたグダウタ地区で「議会選挙」が行なわれた。ラケルバイア「元政府首班」を下し、チャマグア「議員」が当選。チャマグア「議員」(1996年グダウタ生)は2012年3月から「議員」を務める。

#### ▼「情報連携センター」の設置(18日)

・ロシアとアブハジアの「内務省」の「情報連携センター」の設置に関する合意への署名が行なわれた。センターは、「組織犯罪およびその他の危険な犯罪」との戦いを目的とした職員20人の組織であり、センター長はロシアおよびアブハジア側の指名する人物が交替で務める。

・署名に先立ち、「アブハジア共和国議会」の15名の「議員」が、「議会」によるセンターの監督を主張し、署名の延期を求めたが、延期は実現しなかった。

### 【南オセチア】

#### ▼露政府による南オセチア在住露国民に対する年金の支給(12日)

・ロシアと「南オセチア共和国政府」が、南オセチアに暮らす露国民に対する露政府からの年金の支給に関する合意の批准に関する議定書を交換。合意は2016年11月25日に署名され、2017年4月3日に露連邦院が批准していた。合意に基づき、南オセチア在住露国民には露連邦北コーカサス連邦管区の水準と同じ月10,410ルーブルの年金が支給される。

#### ▼「政府首班」の任命(16日)

・5月5日にビビロフ「大統領」が「政府首班」に指名していたプハエフ「前政府副首班」の任命を、「南オセチア共和国議会」が全会一致で支持。ビビロフ「大統領」が任命に関する「大統領令」に署名した。

・ビビロフ「大統領」は、プハエフ「政府首班」は保健、住居、インフラ、金融セクター、経済発展、雇用、農業などの様々な分野の問題を解決せねばならないと述べた。

・プハエフ「政府首班」は1957年ズナウリ地区生まれ。「南オセチア共和国統計局長」を経て、2014年から2017年まで「政府副首班」を務めた。

#### ▼EU南コーカサス特別代表の訪問(17日)

・ジュネーヴ国際会議の共同議長であるザルバーEU南コーカサス特別代表がツシンヴァリを訪問し、ビビロフ「南オセチア共和国大統領」と会談した。会談のなかで「ザ」特別代表は、ビビロフ「大統領」の選挙での勝利を祝っ

た。

・これを問題視したジョージア外務省はEU大使を外務省に呼び抗議。ドンドゥア外務次官は、「ザ」特別代表の発言は受け入れられないと述べた。EU大使は、EUはジョージアの領土一体性・主権を支持しており、南オセチアで行なわれた「選挙」を認めていないと強調。

・統一国民運動がEU特別代表の交代を求める声明を発表するなど、野党各党も発言を厳しく批判。

・ソフミを訪れた後、「ザ」特別代表は19日にトビリシを訪問し、「ド」外務次官と会談。「ザ」特別代表は、南オセチアで行なわれた「選挙」を認めないEUの立場を強調しつつ、EUは紛争の平和的な解決を模索していると述べた。

## 2. 外 政

### ▼大統領のスロバキア訪問(15日-17日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領がスロバキアを訪問。スロバキアのキスカ大統領、フィコ首相、ダンコ国会議長らと会談。コメニウス大学にて、黒海地域の安全保障について講演を行なった。

・「キ」スロバキア大統領との会談後、「マ」大統領は、NATO首脳会談でのジョージアに対する支持を要請したと述べた。「キ」スロバキア大統領は、NATOがジョージアを支持する明確なシグナルを示すよう期待していると述べた。

### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領宛ての米大統領書簡(17日)

・ジョージア・米国の外交関係25周年に因み、トランプ米大統領がマルグヴェラシヴィリ大統領に書簡を送付。

・書簡は、25年の間に両国が密接な関係を築いたとして、国際的テロリズムおよび地域的な不安定性から共有する価値を守るため常に連帯すると述べている。また、国際的に承認された国境内におけるジョージアの主権・領土一体性およびジョージアがその将来を自ら決定する権利に対する支持を確認。

### ▼第一副首相と中国副首相との会談(17日)

・「一帯一路」国際フォーラムに出席するため中国を訪問していたクムシシヴィリ第一副首相兼財務相が安徽省合肥市にて汪洋中国副首相と会談し、貿易・経済関係、二国間協力などについて議論。自由貿易協定、バクー・トビリシ・カルス鉄道プロジェクト、CEFC(中国華信能源)によってポティに開設される予定の自由工業地域、両国政府による観光の発展の促進などについて議論。会談後、「ク」第一副首相は、「我々は、『一帯一路』の枠内で、

ジョージアにおいて中国企業の支援を行なう新しいプロジェクトに関して中国側に要請した」と述べた。

#### ▼欧州評議会大臣級会合(19日)

・ジャネリゼ外相がキプロスで行なわれた欧州評議会の第127回大臣級会合に出席。被占領地域の人権状況について演説。カスリデス・キプロス外相と会談。

・欧州評議会大臣級会合が2011年4月に採択し、ジョージアが2014年に締結した、家庭内暴力の防止に関する欧州評議会協定「イスタンブール協定」について、批准文書をバタニニ・ドラゴニ欧州評議会事務次長に手渡した。

#### ▼首相のヨルダン訪問(19日-21日)

・ヨルダンで開かれた世界経済フォーラムにクヴィリカシヴィリ首相が出席。「ク」首相はヨルダンのアブドラ国王、アル・ムルキ首相らと会談し、「ア」首相と観光分野での協力に関する合意に署名を行なった。

・モゲリーニ EU 外交・安全保障政策上級代表、フェリペ6世・スペイン国王、ブレンデ・ノルウェー外相らと会談。「モ」EU 上級代表は、ジョージアの被占領地域の不承認政策に対するEUの支持を確認。

### 3. 内政

#### ▼国際民主研究所の世論調査(15日)

・国際民主研究所(NDI)が4月7日から28日にかけてジョージア国内の2,493人を対象に実施した世論調査の内政に関する結果を発表。

・国会選挙の小選挙区制について、維持すべき47%、廃止すべき28%、分からない24%。

・大統領の選出方法について、84%が直接選挙を、9%が間接選挙を支持。

・「自身に最も近い政党は」との質問に対し、いずれの政党でもない38%、ジョージアの夢・民主ジョージア29%、統一国民運動10%、分からない4%、愛国者連合4%、回答拒否3%、労働党3%。

・マルグヴェラシヴィリ大統領の評価は、良い27%、普通50%、悪い15%。クヴィリカシヴィリ首相、良い25%、普通53%、悪い15%、ナルマニア・トビリシ市長、良い8%、普通33%、悪い52%。

#### ▼欧州人権裁判所判事の兄弟に対する捜査(20日)

・18日に警察がバトゥミ市内のオタル・ツォツォリア氏の自宅を捜索し、猟銃と拳銃、弾丸を発見したとして、検察が捜査を開始。「オ」氏はニノ・ツォツォリア欧州人権裁判所(ECHR)判事の兄弟。「ツォ」判事はフェイスブック上で、警察の捜索とECHR判事としての自身の活

動との関連を示唆。

・野党は、警察の捜索が、TV局「ルスタヴィ2」およびメラビシヴィリ元首相に関連する訴訟をめぐるECHRの決定に対する政府の不満に関連づけられると主張。「自由のための運動・欧州ジョージア」は、政府に対し、「ツォ」判事とその家族に対する圧力を止めるよう求める声明を発表。

・20日、検察は拳銃が自作のもので、火器に当たらないとして捜査の打ち切りを発表。検察によれば、銃と弾丸は5月11日に死去した「オ」氏の義父のものであった。「オ」氏と家族はその存在を知らなかった。

・「ツォ」判事は2008年より現職。2017年1月に任期が満了したが、ジョージア側が後任に指名した候補者を欧州議会が拒否したために、任期が延長されている。

### 4. 経済

#### ▼2017年4月の国際送金(15日)

・国立銀行の資料によれば、2017年4月の外国からジョージアへの送金額は105.8百万ドル(255.7百万ラリ)。前年同月比11.6%増。送金元の国別では、金額の大きい順に、ロシア33.4%、米国10.5%、ギリシャ10.4%、イタリア9.6%、イスラエル8.5%、トルコ8.1%。EU諸国からの送金が29.7%を占める。

・2017年4月のジョージアから外国への送金額は15.5百万ドル(37.6百万ラリ)。前年同月比4.9%減。

#### ▼2017年1月~4月の貿易統計(19日)

・国家統計局が2017年1月~4月の貿易統計(速報値)を発表。貿易額3,091百万ドル(前年同期比17%増)、輸出額788百万ドル(同30%増)、輸入額2,303百万ドル(同13%増)。

・輸出相手国の内訳はEU諸国25%、CIS諸国37%。輸入相手国の内訳はEU諸国28%、CIS諸国32%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、アゼルバイジャン、中国、ドイツ、ウクライナ、アルメニア、米国、ブルガリア、イタリア。

・日本との貿易高は輸出額2,408.2千ドル、輸入額39,537.1千ドル。

#### ▼2017年4月の工業製品生産者物価指数(19日)

・国家統計局が発表。前月比1.3%上昇、前年同月比9.0%上昇。